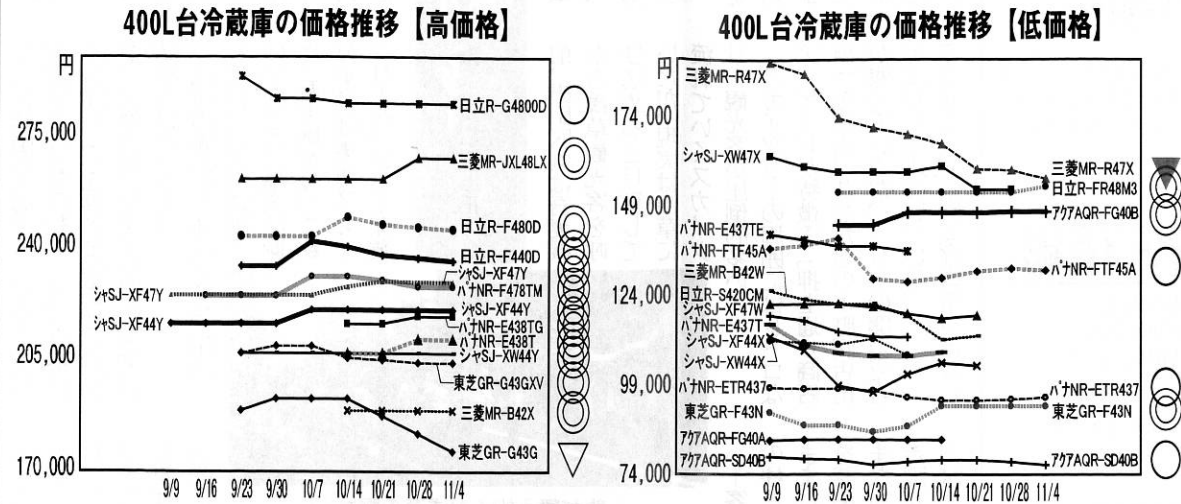


6 引き続き小刻みな変動にとどまる

400L台の冷蔵庫

～11月4日まで9週の売価推移／本紙調べ～



このコーナーの趣旨
 電器店にとって仕入れと販売のタイミングは粗利確保の上で重要。市場の流れからそれを見極めよ！

- ◇先が読める
最近のネットショッピング価格を調査対象にしているの、やがてそれが店頭売りの価格に反映する可能性もある。
- ◇粗利が確保できる
グラフ上において、仕入れた機種が高どまりで安定していれば、相応の粗利を設定していても安心して販売できる。
- ◇売るタイミングが分かる
仕入れた商品が、グラフ上で激しく変動していれば、それは店頭価格にも影響を及ぼすので手持ち在庫は安売り合戦に巻き込まれる前に、いち早く売るのが賢明かもしれない。
- ◇安く仕入れられる商品が探せる
グラフ上で値崩れしている商品は、仕入れも下がっている可能性が高い。

※グラフのデータは本紙がインターネット上の売出し平均価格を調べ、その推移を辿ったものである。本紙独自の集計に基づいて作成しており、店頭での実勢価格とは一致しないため、あくまで参考にとどめられるようお勧めする。実際の仕入れや販売は販売店自らの責任でおこなうことを願います。

選ぶならリスタが安定か？
 マーケットは生きものなまよ！
 仕入れと販売のタイミングを逃すな

○安定
 ○やや安定
 ▼リスクあり
 ▼かなりリスクあり

大きな変動もなく推移している400L台の冷蔵庫売価だが、同市場は今週も引き続き小刻みなブレに終始しながらの展開となっている。本紙は冷蔵庫市場でポピュラーなムーンとなっている400L台タイプについて、その売価調査を実施。それによると10月28日から11月4日にかけては全20機種中、値下げが7機種、現状維持が11機種(100円以内の変動は現状維持にカウント)、値上げが2機種となった。この中で、値下げに関しては東芝GR-G43Gの5500円、三菱MR-R47Xの2400円という落ち込みがあったものの、他はすべて1000円以下の下落範囲にとどまっております。比較的安定した進捗といったところ。

一方、値上げは日立R-FR48M3が2400円の上昇となったが、他の1機種は1000円以内のアップとなった。

が説明し、広報誌「大電協」を発行するため、7月29日に部会を開いたことを報告した。経

営合理化推進部の廣瀬益美部長も、10月12日に部会を開催したことを報告し、財政総務部

については、担当の田中貞夫副理事長が報告した。



山口重治理事長

事業の運営状況については、各部長と安全をお届けできるように、一層努力していかねばならない。そのため、執行部としても組合活動に懸命に取り組んでいく。引き続き、皆様の協力をお願いしたい」と抱負を述べ、挨拶を結んだ。

また、組織部の八木一夫部長は、9月6日に部会を開催したことを報告し、10月から来年3月までの組織増強月間への協力を呼び掛けた。広報部については、担当の山田修副理事長

理事会の冒頭挨拶で山口理事長は、最近の国内景気や省エネ・節電商品へのニーズの高まりなどの話題について触れたあと、電気工事関連については「依然として業界は厳しい状況にある」との見方を示しつつも、「住宅着

工件数が1月～6月トータルで前年比8・6%増となり、13年度上期は5年ぶりの高水準で推移した」と明るい話題を提供し、「資材関連メーカーは軒並み増産体制となっており、消費税増税の駆け込み需要を取り込み、我々もこの恩恵に浴したい」と期待を寄せた。

席の丸若恒雄部長に代って、山田修副理事長が4月～10月の弔慰について報告した。

●上期は5年ぶりの高水準

大阪電気設備協同組合(山口重治理事長)は10月24日、大阪市天王寺区の家電会館で平成25年度第2回理事会を開催した。理事會では、平成25年度事業について前回理事会後の状況を各担当部長が報告したあと、議案審議に入り、全ての議案を賛成多数で承認可決した。

大電協

5

山口重治理事長「新技術獲得に一層努力を」

平成25年度第2回理事会を開催 全ての議案を賛成多数で承認

がそれぞれ報告。技術部の児島暉洋部長は、来年1月20日から5月中旬までの期間、家電会館が耐震工事に入ることから、例年2月に開催している技術相談員会の会場が変更になることを報告。福利厚生部は、欠



会場の様子

●来年3月まで組織増強月間